

加入促進期間中

今なら
加入金、引き込み工事が
無料

～平成20年9月30日まで～
お早めにお申し込みください

テレビが変わります。暮らしも変わります!!

新しいケーブルテレビ
加入にあたっての疑問にお答えします。

～平成21年4月供用開始予定～ 高度情報化推進室 Vol.33

☎92-1108 E-mail kjouhou@town.tochigi-nakagawa.lg.jp

加入にあたっての
Q & A (その2)

【宅内配線編】

Q1 『今までのテレビケーブルと何が違うのですか?』

A1 新しいケーブルテレビでは、利用目的により2種類のケーブルが必要となります。放送系ケーブル

テレビを見るためのケーブルです。

通信系ケーブル

電話や音声告知放送、インターネットなどに使う通信線用のケーブルです。

Q2 『今までのケーブルは使えないのですか?』

A2 使えるものと使えないものがあります。

放送系ケーブル

同軸ケーブルであれば、おむね使えます。分配器やブースターは交換が必要な場合もありますので、詳しいことは電気工事店等にお尋ねください。

（使えないケーブルの例）

・劣化したケーブル（錆の発生、被覆のひび割れ等）
・2心のケーブル（ファイダー線等）

通信系ケーブル
使えません。テレビ用配線とは分離した新たな配線が必要ですよ。

Q3 『なぜ、新たな配線が必要なのですか?』

A3 通信系ケーブルは、電話線などと同様に、上り下りの双方で通信を行うためのケーブルです。

放送系ケーブルと一緒に使くと、宅内の洗濯機や冷蔵庫等から発生する雑音（電気ノイズ）が上り回線に入って放送センターに集まり、通信ができなくなってしまうため、雑音に強いケーブル（5CFB以上）や器具を使った、他のテレビ用配線とは分離した配線が必要なのです。

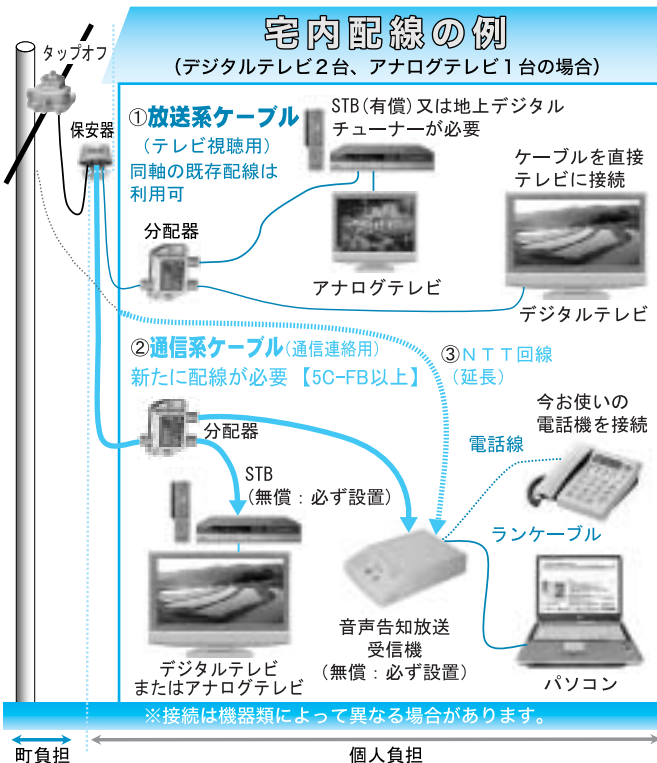
提供できませんので、通信系ケーブルは必ず設置してください。

Q5 『テレビが1台だけでも、新たな配線が必要なのですか?』

A5 1台目のテレビは、STBと接続して情報検索用端末としても使用（テレビも見られず）し、同じケーブルに音声告知放送受信機も接続しますので、今までの配線に替えて新たな配線が必要になります。

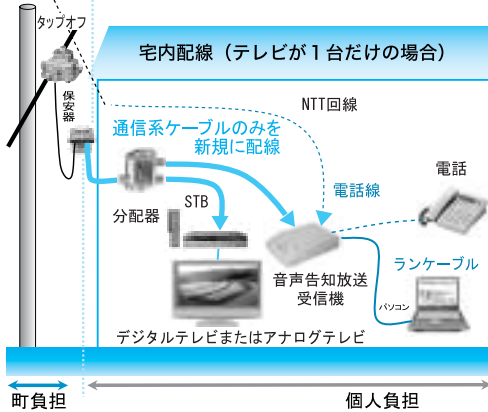
宅内配線の例

(デジタルテレビ2台、アナログテレビ1台の場合)



Q4 『テレビが見られればいいので、通信系ケーブルは必要ないのですが...』

A4 新しいケーブルテレビでは、テレビを見るための放送系のサービスと音声告知放送やIP電話、インターネット等を行うための通信系サービスを一体的に提供します。放送系だけのサービスは



Q6 『どの部屋に配線すればいいのですか?』

A6 音声告知放送を聞いた
り、テレビインターネットで

町の情報を見たりするために、『居間』などの家人が集まる部屋への配線をお勧めします。

Q7 『自分で配線工事をしてもいいのですか？』

A7 個人で工事した場合、端末機器が正常に作動しない恐れがありますので、必ず電気工事店等の専門業者に依頼してください。

Q8 『どの業者に頼めばいいのですか？』

A8 9月ごろまでには、町が業者（地元の電気工事店等）を指定し、公表する予定ですから、直接指定業者にご依頼ください。

なお、新築等により、早急に配線工が必要な場合は、高度情報化推進室にご相談ください。

Q9 『どの指定業者に依頼してよいか分らない場合は、どうすればいいですか？』

A9 あらかじめ町で割り振った指定業者を紹介します。



Q10 『新築等で、すでに配線工事が済んでいる場合はどうすればいいのですか？』

A10 ケーブルテレビに加入するためには、通信系ケーブルだけは、新たな配線が必要になります。（すでに規格に適合した分離配線工事が行われている場合を除く）

Q11 『いつごろから工事をするのですか？』

A11 9月ごろから順次実施します。事前の調査等、今後のスケジュールについては、別途通知します。

Q12 『費用は？』

A12 個人負担になります。家の構造やケーブルの延長により異なりますが、木造の露出配線でおおむね2万円程度です。直接業者にお支払いください。

Q13 『テレビ用の配線やテレビ等の調整も一緒に頼めるのですか？』

A13 指定業者が行う工事は、原則的には通信系ケーブルの配線工事だけです。放送系ケーブルの配線工事を併せて依頼することは可能ですが、費用は別途必要です。

用は別途必要です。

Q14 『音声告知放送受信機やSTBの設置、調整は指定業者が行うのですか？』

A14 指定業者とは別に、引き込み線工事を行う業者が行います。

Q15 『③NTT回線の延長接続工事が必要なのですか？』

A15 今お使いの電話機を接続することで、町内無料電話

やIP電話とNTT電話が兼用できるので、延長接続工事をした方が便利です。

なお、NTT回線を接続しない場合やホームテレフォン・ビジネスフォン等の場合は、新たな電話機を接続し、町内無料電話やIP電話の専用機として使用します。

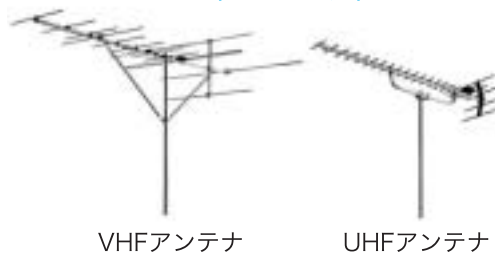
【アンテナ編】

Q16 『今のアンテナ（UHF・VHF）は不要になりますか？』

A16 2台目以降のテレビをすべて放送系ケーブルに接続すれば、不要です。撤去、処分等の費用は個人負担となります。2台目以降のテレビは、今のアンテナで見ることができません。（VHFはアナログ放送終了時まで）

なお、今までUHFアンテナに接続してあったアナログテレビを新たに放送系ケーブルに接続して、当面アナログ放送をご覧になる場合には、チャンネル調整（有料）が必要となります。

アンテナの種類
(地上放送用)



(衛星放送用)



BS・CSアンテナ

Q17 『BSやCSのアンテナは不要になりますか？』

A17 不要になりませんが、CSの場合は番組内容や契約者が異なりますので、解約して新たに町のオプションサービスを申し込むこととなります。

なお、今までのアンテナと配線を生かして、そのままテレビに接続するか、放送系ケーブルに混合することもできますので、詳しいことは、電気工事店等にお尋ねください。

NTT回線を接続する場合と接続しない場合の利便性の比較

通話の種類	NTT回線の接続	
	する NTT兼用	しない 町内(IP)電話専用
110や119への通話		×
停電時の通話		×
市外への発信		×
104や117等、NTT独自の番号サービスの利用		×
フリーダイヤル(0120-**)の利用		×
一般電話や携帯電話等からの着信		×

上記通話には、NTTの通話料がかかります。(、IP電話を除く)